議会運営委員会視察研修報告書

視察地：関東
視察先：東京都あきる野市、東京インタープレイ株式会社
実施日：令和元年 11 月 11 日（月）～11 月 12 日（火）
旅　費：552,380 円（公費）

【視察目的】

1. 東京都あきる野市議会
   - ・政務活動費マニュアルについて
   - ・議会改革について
   - ・市議会だより「ギカイの時間」の編集について
2. 東京インタープレイ株式会社
   - ・電子採決について

【視察結果】

1. 東京都あきる野市において、あきる野市議会子籠敏人議員からあきる野市議会が取り組んでいる活動について説明を受けた。

①現状

・政務活動費マニュアルについて

あきる野市議会では、平成 25 年 10 月に設置された議会改革推進委員会において政務活動費マニュアルについて協議し、策定したとのことであった。策定することにより、議員は使途の厳格化ができ、市民からは透明性や説明責任の確保が求められ、事務局についても議員に対して説明がしやすくなったとのことで、策定に際し、手土産代や保険代、日当、宿泊代の上限など、使途範囲について特に丁寧に協議を行ったと説明があった。

・議会改革について

あきる野市議会では、広報誌のリニューアル、議会基本条例の制定、通年議会のスタート、長期欠席議員の報酬削減条例の策定、中学生スピーチの実施、災害対策支援本部訓練、議会選出監査委員のあり方検討など様々な議会改革を行っているとの説明があった。

・市議会だより「ギカイの時間」の編集について

議会改革の一つとして議会だよりのリニューアルを行った。あきる野市議会では、新聞折込や施設での配布に限られており、全戸配布をしておらず、いかに市民に手にとってもらえるかということを意識してリニューアルした。内容についても、ホワイトスペースを効果的に取り入れたり、内容を詰め込みすぎず不用なものは削除したり、読者が読んでみようと思うような工夫をしているとの説明があった。

作成については、議員と事務局が協力しており、担当割振りを決め、定例会前から編集作業を行うなど、編集作業の平準化し、委員の負担にならないよう努めているとのことであった。

2.　　西予市議会で導入しているサイドブックスの開発会社である東京インタープレイ株式会社においてサイドブックスを用いての電子採決や議決結果のデータ活用等についてデモンストレーションを用いて説明を受けた。

【視察効果及び西予市での応用】

1.　　政務活動費マニュアルについては、次期改選期までに、市民が納得するような透明性のある使い方、使途の厳格化などを念頭において策定し、策定後も定期的に見直しを行い、実情に合ったマニュアルとする必要がある。

　議会改革については、議長公務日誌の公開や庁舎入口への議会日程表の掲示、傍聴者への配布資料の拡大など、西予市議会でも実施可能な改革については早急に検討する必要がある。

2.　　電子採決については、議員の意思が瞬時にわかるだけでなく、結果をデータとして蓄積できることから改選期に合わせて導入することも検討する必要があると感じた。

　また、モニターを活用することで、採決結果だけでなく、資料を掲示することができるようになることから、傍聴者への対応も今以上によくなるため、今後検討していく必要がある。

令和元年 11 月 29 日

議会運営委員会
委員長　藤　井　朝　廣

１．あきる野市議会にて（R01.11.11）
～政務活動費マニュアルについて～
～議会改革について～
～市議会だより「ギカイの時間」の編集について～
【講師：東京都あきる野市議会子籠敏人議員】

２．東京インタープレイ株式会社にて（R01.11.12）
～電子採決について～
【講師:東京インタープレイ株式会社　課長､係長】